



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語	“Active Participation with Love” [愛をもって積極参加]
アジア会長標語	“Participation and Inspiration” [参画、そして感動を]
西日本区理事標語	“One for all, all for one” [一人はみんなのために、みんなは一人のために]
中部部長標語	“Chubu District Y'sdom 120” [こころ熱くし 今日も輝く]
クラブ会長標語	“Enjoy Volunteer!” [楽しいボランティア活動をしよう!]

2007年2月号

— <今月の聖句> —

「さて、あなたはこの3人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」立法の専門家は言った。「その人を助けた人です」そこでイエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい」

ルカによる福音書 10章36節

グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2007年2月例会ご案内

◎第一例会

と き : 2月1日 (木)
 ところ : 名古屋YMCA
 時 間 : 19:00~
 内 容 : 総会準備

◎第二例会

と き : 2月15日 (木)
 ところ : 場所未定
 時 間 : 19:00~
 吉田正君再就職祝賀会

3月第一例会「総会」を前提に次期役員の人選等を打合せます。

◎ワイズ感謝デー

と き : 2月24日 (土) 25日 (日)
 ところ : 東山荘

※クラブでの公式参加はない

1月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド (1月)	
	在席者	14名	第1例会	名	当月・切手		ニコBOXノート	
例会出席者	14名	第2例会	名	当月・現金		感謝ファンド		
当月出席率	100%	部会他	名	累 計		累 計		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利を伴う＝

第一例会報告

日 時:1月19日(金)
 場 所:名古屋ガーデンパレスホテル
 出席者:下村、服部、早川、三井、佐藤、松原、
 阿部、徳田



今年の合同例会は1月19日に南山クラブのホストで開催され、およそ70名のワイズメンが集いました。以下、今回の例会で私が最も印象に残った「卓話」についての感想を述べます。

今回の卓話は、株式会社松坂屋代表取締役会長岡田邦彦氏より「元気印のナゴヤを語る」をテーマにお話をいただきました。

「元気」と「銜気」の違いから始まり、「SWOT」の考え方、岡田会長が考案された透明なサイコロを用いた「5W1T」の思考手法・・・。

吸い込まれるように聞き入った興味深い話題と、流暢なお話しぶり。講演時間は25分。講演の前に岡田会長ご自身がセットされたタイマーが合図を鳴らす頃とほぼ同時にぴたりと講演が終了。あっという間の25分でした。

講演の内容は岡田会長のレジュメをご覧ください。このレジュメは「話がわかりにくかったのではないかとご心配された岡田会長より、名古屋クラブ谷川会長がいただいたものです。講演を振り返りながらご一読ください。 下村明子



三井次期中部部長の挨拶

「講演レジュメ」

元気印のナゴヤを語る

松坂屋会長 岡田邦彦氏



1. 元気だと言われて喜んでいうちは、名古屋もたいしたことはない。銜気（自分の才能などをみせびらかし、自慢したがる気持ち）の名古屋にならないように気をつけたい。文化で愛され、技術開発で尊敬される名古屋にならないといけない。
2. 現在の愛知の元気は、製造業の元気から来ている。
 - (1) 全国的に製造業、特に自動車組立て工場の立地する地域は回復が顕著。
 - (2) 農林水産業・鉱業・建設業従事者の多い地域は回復が遅れている。
 - (3) 地域回復の格差は産業構造に起因している。
3. 日銀はなぜ利上げを見送ったか。
 - (1) 企業部門の好調は製造業が主役。
 - (2) 製造業の堅調な売上は外需に依存。05年の海外売上高 40.7%
 - (3) 自動車メーカー大手7社の海外売上高（輸出＋海外子会社売上）比率 73.8%
 - (4) 景気回復のアンカー個人消費はまだ元気とはいえない。
4. 敵を知り、己を知らば、百戦危うからず S W O T の考え方

Strength ものづくり技術の蓄積 道路・空港の充実 水資源の豊かさ	WEAKNESS 人材の吸引力 文化情報発信力
OPPORTUNITIES アジア圏の潜在成長力 愛知万博の成功	THREATS 自動車産業の成熟度 有効求人倍率の高さ

5. ポスト万博の課題として考えたこと—オクトピア

- (1) 自動車組立てを頂点とする富士山型産業構造のままではいけない。
- (2) 愛知県が今後重点施策として取り組むべきこと

環境エネルギー	観光振興	健康長寿
広域連携	OCTOPIA	起業促進
研究教育	安心安全	芸術コンテンツ

観光振興のオクトロジー：①産業観光②都市観光③歴史観光④産物観光⑤まりづくり⑥イベントづくり⑦おもてなし⑧市場開拓

6. 分析的に、かつ総合的に考え抜くためのヒント

- (1) 5W1Hと透明なサイコロの教えるもの
①WHEN 時間②WHERE 空間③WHO 人間④WHAT 事物⑤HOW 状態⑥WHY 理由
- (3) 人間の記憶できる要素の数 7 ± 2 を応用したオクトロジー。
正方形を9等分して中央にテーマ、周辺に8つの切り口を考え出す手法。



合同例会所感

第8回名古屋地区ワイズメンクラブ新年合同例会は、1月19日に名古屋ガーデンパレスで名古屋の5クラブと四日市クラブから80名を超える出席者で行われました。

第1部の卓話の講師は(株)松坂屋ホールディングス代表取締役会長の岡田邦彦氏を迎え「元気な名古屋を語る」のタイトルで行われました。今、名古屋は、愛・地球博をきっかけに、『オクトピア』(～八つの夢の領域～、1.環境エネルギー、2.観光振興、3.健康長寿産業、4.教育・研究開発、5.広域連携、6.起業促進、7.芸術文化振興、8.安全・安心まちづくりといわれる危機管理)をキーワードに様々な分野で機会があると話されました。その言葉をキーワードにして成長していきたいという考えを聞かせていただき感銘いたしました。

第2部ではグランパス下村会長の乾杯後、会食が始まり他のクラブのメンバーと近況を楽しく話させていただきました。名古屋クラブは11月にクラブ60周年会予定しており、ソウルとの国際交流プログラムも入っているそうです。東海クラブは、5月20日に根ノ上で、40周年会を開くそうです。プラザクラブは、20周年会を4月に予定しており、四日市クラブは、30周年会を11月17日に予定とのことだそうです。今回合同例会のホストで、忙しかった南山クラブは、元気に活動しているそうです。ゲストで出席のインターアクトクラブのメンバーからは、高校卒業後の奉仕活動のクラブ、Y'S ユースの立ち上げの計画がある事を聞きました。他のクラブの方と色々とお話ができ、交流が深み楽しい時間を過ごす事ができました。

佐藤 壽晃

第二例会報告

日時:1月18日(木) 19:00より
場所:名古屋YMCA(代官町)にて
出席者:下村、吉田正、三井、荒川、早川、徳田、坂倉、服部、

1 諸連絡

- (1) 三井次期中部部長より、1月13-14日に開催された次期区役員研修会の報告があった。
- (2) 同、中部部会は9月16日(日)に開催予定。場所内容等を今後検討する。
- (3) 名古屋地区ワイズ合同例会の出席者確認。9名予定。
- (4) 徳田主事より、フィリピンワークキャンプのお知らせがあった。これに対し下記の意見が出された。

- ①クラブとしての支援を毎年もっと早くから検討する。
- ②支援する母体をしっかり作る必要がある。
- ③新聞等の後援をとる等、PRをしっかりとる。
- ④今回はリーダーの中で参加者があれば、参加費の半額をクラブで補助する。

2 とつかクラブとの交流について

2月の東山荘でのワイズ感謝デーへの参加者が両クラブとも芳しくないため、4月ごろ静岡あたり(熱海など)で交流を考えてはどうか、との意見が出され打診することとした。

3 今後の予定

- (1) 2月第1例会 2/1 次期クラブ役員選出
- (2) 2月第2例会 2/15 吉田正君の再就職祝賀会 場所等未定
- (3) 3月第1例会 3/1 クラブ総会

報告:書記 服部

爺ヶ岳スキーツアー

第22回グランパスクラブファミリー(?) スキー報告

吉田 正

暖冬が叫ばれる中、新年特別例会のファミリースキーが1月13日(土)~14日(日)長野県大町市爺ヶ岳スキー場、マルハンロッジで行われました。

先週末に降った大雪と好天候に恵まれ、ゲレンデはベストコンディションでした。クラブメンバーの年齢構成が象徴するようにコメントの参加が減少し、いよいよミドルシルバー(?)スキーの様子があり、次回からイベント名称の変更も検討しなければと考えています。しかし参加者は温泉、休息そして美味しい料理にお酒とスキーはもちろんですがその他の楽しみをおおいに満喫しました。昨年のような大きなハプニングはありませんでしたが大いに語り、呑み、年末・正月と忙しい時期に少々疲れ気味の体を癒した2日間でした。次回23回は懲りずに3月末山田牧場(温泉付)で計画しています。

参加メンバー:坂口功祐君、吉田正君、吉田和枝メ
ネット

<ゲスト>高田君、新美君、松井君とご子息、
坂口君友人2名 以上 9名

※1月第二週には荒川恭次君ファミリー3名が大
雪の中、下見に参加しました。



現地下見プログラム報告

荒川 恭次

今年も西日本区の次期役員研修会と日程が重なり、本プログラムの1週間前1月6日・7日に正に下見ツアーとなりました。

昨年暮れから暖冬の影響で各スキー場は雪不足、出発前日にマルハンロッジに電話確認するが、「ん〜、まあ、ありますよ雪は」とオーナーの頼りない返事。だからダメだったら温泉ツアーに変更しよう、おニューのウェアをバックに詰め込んで気楽に出発しました。

ところが、恵那山トンネルを抜けたあたりから外気温が下がり始め、あっという間に吹雪となりました。その後はず〜と吹雪状態で、ゲレンデも雪不足どころかフカフカの新雪を久々に味わいました。しかし吹雪と濃いガスは視界を遮るため、スピードは上げられないは新雪に突っ込んで出られなくなるので、体力を消耗したスキーでもありました。

昨年は大雨、今年は大雪と天候には恵まれませんが、しかし楽しめたこともありました。急な積雪で他車はチェーンを装着するが、路面整備の追いつかないフカフカの雪で恐る恐るの運転。しかし我が愛車はこういう状況のための車。横浜へ帰るとい同

じ車のドライバーと交わした言葉が全てを語っています。「スバル車でよかったですね」。

さて帰路は雪で高速道路閉鎖のため、久々に中津川までR19を走行。おまけに全線積雪路で、日ごろはアスファルト走行ばかりで減りが気になったスタッドスタイヤも、ようやく仕事ができたと愛車共々喜んでいましたようです。

しかしホワイトアウト(雪の乱反射で見えなくなる状況)で路肩もわからない状況でのドライブはなかなかスリルがあり、一面の銀世界の景色を楽しみつつ、心地よい緊張感に包まれた時間を過ごしました。だから1週間後の本プログラムは絶好のコンディションで行われたことと思います。



ウェアも新しくなったのに猛吹雪で何も見えない



20年ぶりに堪能した猛吹雪の雪上走行



これが1週間後だったら……

DBC交流コーナー

～ 近況報告 ～



横浜とつかクラブ 安永 和夫

横浜とつかクラブの安永です。

私ごとで恐縮ですが、一昨年夏のインド国際大会の後、体調を崩し、例会等に出席できなくなりました。病床での楽しみは、ワイズのニュースを読むことでした。

現在、月2回通っている病院外来の結果で、膠原病の病状は変わりなく、ステロイド(特効薬)で保っています。そして、半年前からのヘルニア(手術痕ヘルニア)の処置が、命がけの大手術になるので、なるべくそーとしておこうという診断です。総合病院の連絡は完璧で、週2回の訪問看護師の情報も即時に対応してくれています。そんなことで、ワイズの会合には当分出られませんが、メールやブリテンで楽しみを分けて下さる様 お願いします。

貴クラブと名古屋、また東山荘や、横浜で行ったDBC交流を楽しく思い出しています。グランパスの活動の様子は非常に刺激になり、そのつど、とつかクラブにとって得るところが多いと思います。例会に出ないで、こんな記事を書くのはどうかと思いますが、ワイズメンとして 欠席つづきのメンバーに、代わらないご交流をもてるのはすばらしいことで、感激です。クラブ員全員が交流会に出ることはなく、時間空間を越えて一緒に活動できることが嬉しいのです。

ブリテンの内容で多くの情報を得て、本来の奉仕活動につき考え、行動できれば良いと思っています。とつかクラブは、湘南・沖縄部でがんばっています。金沢八景クラブや横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブの立ち上げに努力しました。より多くの会員を獲得して楽しいワイズを作って行きたいと思っています。お互いの区大会や国際大会での交流を期待しています。それぞれクラブ全員が出なくてもいい、一人でも、二人でも訪問しあって行きたいと思っています。ドロップアウトすることを避けて拡大を進めるには、緻密な連絡、メール、ブリテン、そして電話連絡が大切でしょう。

グランパスの皆さんの健康とご発展を祈ります

～更なる交流をよろしく～



次期湘南・沖縄部部長
浦出 昭吉(横浜とつかくらぶ)

貴クラブとDBCを締結したのを弾みに、一昨年、クラブでは最優秀クラブ賞、ブリティン優秀賞、そして昨年度、区の会員増強事業主任(EMC)のときには、金沢八景クラブをチャーターし、クラブの目覚ましい活躍ぶりが注目されました。そうした中で、お互いスケジュールのタイミングが合わず、交流の方はいまいちままならず、心残りの感じがしております。

とつかクラブは、今、メンバーが減り、クラブ内の充実の必要性を痛感しております。貴クラブとは一層活発な交流～合同例会など～を持ちたいと思っております。それでも、明るいニュースもあります。メンバーの佐藤克男ワイズが作詞、作曲と歌を南部直登ワイズのコンビで“盛春歌”という中高年向けの応援歌をオリジナル曲としてテイチク・エンタテイメントから堂々とデビューすることになりました。

この曲は、今までの日本の国を支え今日の繁栄の礎をつくった中高年の私たちに元気を与え、もう一度再チャレンジをしようといった内容を歌に託したもので、50歳を過ぎても、60歳を過ぎても、年金をもらっている人たちも、みんな元気になろうという、まさにワイズ向きのチャレンジスピリットに満ちた応援歌です。1月24日全国レコード店で一斉に発売されましたが、発売前に日本放送で“盛春歌”を放送したところ問い合わせが殺到し、同番組では特別コーナーを設け再度、生出演で紹介されるという嬉しいハプニングもありました。是非、名古屋からも“盛春歌”をリクエストとして放送番組にご投稿いただければと思います。ご声援の程よろしくお願ひ申し上げます(CDご希望の方は、会長が私までどうぞ)。近々に交流できますことを楽しみにしております。

※参考

http://www.hokkaido-np.co.jp/Php/ki_ji.php3?&d=20070125&j=0025&k=200701251305

西日本区次期役員研修会



1月13日(土)～14日(日)、西日本区主催の次期役員研修会が開催されました。今回はクラブから現広報事業主任の私と、次期中部部長の三井君が参加しました。特に次期役員は次期理事を筆頭に次年度方針を演壇でアピール。我が三井君も次期中部長方針を披露しました。二日間みっちりの研修でいささか疲れましたが、現・次西日本区役員が懇親を深めることもでき、充実した時間を過ごすことができました。いずれにしても来年度はグランパスクラブが三井部長を支え、中部を盛り立てていくこととなります。メンバー各位のご支援・ご協力をお願いいたします。

荒川 恭次

YMCAだより

フィリピン東部台風情報

名古屋 YMCA とも、ワークキャンプをとおして関わりの深いフィリピン東部台風 21 号情報です。

最近では、日本のマスコミで、ほとんど報道されることもありませんが、とちぎYMCAのスタッフ大浦智子さんが現地の視察から帰国し、現地視察レポートが作成されました。

現地は、被災後の初期の状態にあり、YMCAによる現地での中長期期支援策がまだ検討中とのことです。レイテ地すべりは、いよいよ家屋建設を開始する段階に入っているようです。

台風 21 号への対応として、日本 YMCA 同盟では引き続き 3 月末日まで募金を受付けています。名古屋 YMCA でも、ワークキャンプの募金より協力したいと思ひます。みなさまのご支援をなにとぞ宜しくお願ひいたします。

徳田 望

※別紙の現地視察レポートをご参照ください。

そ の 他

1. 今月の誕生日

happy birthday

三井 秀和 (8日)
井川 幸吉 (10日)
坂野 清治 (10日)
井川己美代 (19日)

congratulation!

2. ネット例会会場

グランパスホームページにて運用中。

携帯電話からアクセスしてクラブメンバーへの諸連絡を投稿または閲覧してください。

<http://www.ys-chubu.jp/main/bbsgr/glight.cgi>

3. 西日本区強調月間

ワイズにとどまらず周りの人たちにも地域奉仕活動を広めましょう。TOF・CS・FFを理解してもらい、より大きな支援となるように！

石倉 尚 地域奉仕事業主任

4. 合同例会アルバム

